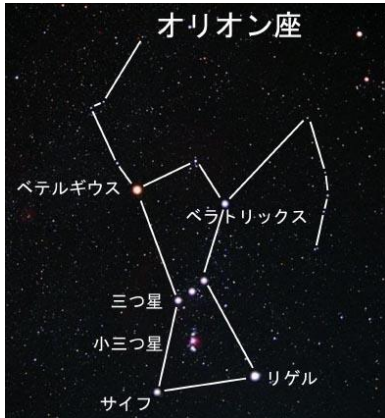


今日から給食がはじまりました！ 2 学期も本格始動です！…ヨ



前回の校長室だよりを 8 月 28 日にだしたときは、まだまだ朝晩も暑くていつになったらこの暑さが和らぐのかと願っていたのですが、季節の変化は確実にすすんでいっていました。昨日あたりから朝晩はしのぎ易くなり、特に今日の朝は昨日以上に「秋」の訪れを感じさせてくれるような心地よい涼しさになってきました。

あわせて、日が暮れるのも早くなり、今は午後 6 時半くらいには日が沈みます。また、朝の日の出も夏に比べるとずいぶん遅くなりました。ついこの間までは、朝の犬の散歩で 4 時すぎに家をでて、もうあたりは明るくなっていたのが、今では 4 時ではまだ真っ暗です。しかも、今朝、朝の散歩のときに夜(早朝?)空を見上げると、冬の星座の代表である「オリオン座」が東の空にきれいに輝いているのを見つけました。確実に季節は夏から秋へそして冬へむかっているということを実感させられたのでした。

とはいうものの、昼間はまだまだ日差しが厳しく、熱中症には注意が必要です。今日でプール(水泳)指導は終わり、来週からはいよいよ運動会に向けた練習がはじまります。9 月 30 日(土)の本番でどの学年の子どもたちも力をだしきってくれることを願っています。

☆☆☆ 夏休みのこと…

1 学期終業式で、子どもたちに、『ふだんはやりたくてもできないような何かを、夏休みにやってみては…』と話しました。そして、夏休みがあけた先日の 2 学期始業式で、夏休みが終わってどうだった?といったことを聞かれました。各クラスで子どもたちは担任の先生と夏休みのできごとなどを話したと思います。

そんな中で、私が聞いた話で『夜間登山(ハイキング)』に家族で挑戦したおうちがあることや、本校の子どもで、『キックボクシングを習っていて全国大会で優勝した人が』いること、『普段では考えられないような数の本を読んだ人』等々、まさに一人ひとりの子どもたちが、「ふだんでは決して経験することのできない」ような何かを経験してくれていたことに感激したのでした。



ちなみに私は、今年の夏はいつになく忙しく、何も予定が入らない日はお盆のときの数日だけで、あとは午前中研修があったり、それに引き続いて別の場所での会議のために出張にいたり等々、ふだん以上にバタバタとしていた夏休みでした。そんな中、前回、校長室だよりの最後に書きましたが、レイ君の甥(おい)っ子の 13 ヶ月で元気いっぱいのファル君が訓練から家にもどってきたので、我が家はいつもにも増して「犬がいっぱい」でその面倒をみるのに追われていました。特にレイ君とファル君の関係は、レイ君はファル君にとっては父親くらいの年齢で、オオカミの親子やライオンの親子がするように、レイ君はやんちゃなファル君に様々な遊びを通して「やっていいこと」「いけないこと」「甘咬みのしかた」等々を教えていることがよく見てとれました。こういった「触れあい」の中で仔犬は、しっかりと学習して、「群れ」の中で生活していくことができるようになるのです。

しかし、家の中でまるで「野生の王国(ずいぶん昔にテレビでやっていた動物ドキュメンタリーです)」の一場面のように大型犬二匹がぶつかりあったり、追いかけて走り回ったりしているのをすぐ傍で見ていると、それはそれは迫力があります。が、お陰で家の中は片付けても掃除をしてもすぐに大変な状態になってしまいます。また、その様子を他の犬たちは関係ないといったふうに冷やかな視線を二匹に送りながら寝そべっていたりします。

前回に載せたレイ君とファル君の写真で右側がレイ君で左側がファル君です。わかった方おられますか?

※裏面へ続く

☆☆☆ 図書館まつりでの「犬学クイズ」のこと…

今年も昨年と同じように、夏休みに入ってすぐの図書館イベントのひとつで多目的室で「犬学クイズ」をグループ対抗でおこないました。もちろん、「犬に関するクイズ」ですから(?)、アシスタントとしてレイ君がきてくれました。昨年は、学校に犬がくることは(もちろん)はじめてのことですし、レイ君自身も、いくらフレンドリーとはいえ子どもたちには「馴染み」がありませんでしたから、何かでレイ君が吠えたりすると(レイ君も犬ですから相手に伝えるのは体全体や表情を使うことと「吠える」ことではできません)、大型犬が近くで吠えたりする場面に出会ったことがない子どもは驚くこともありました。今年の様子をみていると状況はまったく違って



いました。例えばレイ君もときには(自分の思うように遊んで欲しい!とか、おやつが欲しい!とか)自己主張をするのですが、その場合じっとこちらの目を見ながら吠えたりします。ただ、その声の高さや吠えるときの仕草が「自己主張」の内容によって微妙に異なります。子どもたちもそのことに気がつき始めたようで、レイ君が何かを伝えたくて吠えたとき、私に「先生、今のは何て言ってるの?」と質問したりします。それに対して私が答えると「そうか、」と言って納得することがあります。子どもなりにレイ君とコミュニケーションをとろうとしている証です。それと、今年が多目的教室ではレイ君をリードからはなしましたが、いろいろなグループから声がかかるとそのグループに入って彼も

ごく自然に参加していたことが印象に残っています。

To be continued (次号に続きます)

